

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則

本競技会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行いますが、フライングルールについては、1人2回で失格とします。また、スタート合図は日本語で行います。

2. 練習

練習は8時15分まで全面使用できます。その後は南部記念ポール側及び周回競技時を除くバックストレートとします。

3. 招集点呼

- (1) 招集点呼場所は、競技場第1ゲート付近（100mスタート側）で行います。
- (2) 招集時刻は競技開始時刻を基準とし、トラック競技は競技開始20分前から開始し、10分前に完了します。フィールド競技は競技開始30分前から開始し、20分前に完了します。
- (3) 出場者本人が招集時間に招集所で点呼を受け、ナンバーカードの確認を受けてください。
- (4) 招集完了時刻に遅れた者は、その競技を棄権したものと見なされます。2種目に出場する者で、点呼時間が重なる場合は、早めに点呼を行うことができます。

4. 競技場への入退場

- (1) スタート地点、競技場所への移動は係役員の指示に従うこと。選手以外の競技場への立ち入りは認めません。
- (2) 選手はメインスタンド前を通行できません。
競技終了後、トラック競技は第2ゲート（フィニッシュ地点側）を通り退場します。
フィールド競技は担当審判員の指示に従い退場します。

5. ナンバーカード

- (1) 選手はナンバーカードを背と胸にきちんと取り付けてください。
- (2) トラック種目及びリレーの最終走者は右腰やや後ろに腰ナンバーカードを付けます。

6. 走路順、試技順序

- (1) 予選のレーン順、試技順はプログラムに記載の順とします。
- (2) 決勝の組み合わせ、レーン順は本部抽選とし、記録掲示板に掲示します。
- (3) タイムレースの時、着差なしの同タイム者が多く、決勝のレーンが不足する時は同タイムの選手による本人または代理人による抽選とします。
- (4) トラック競技で棄権者のある時は、そのレーンをあけたままとします。
- (5) 短距離走のフィニッシュ後は安全のために自分のレーン（曲走路）にそって走り終わってください。

7. 競技について

- (1) 800m、1,500m、80m H、400m Rで2組以上の場合はすべてタイムレースによる決勝とします。800mのスタートはオープンで行います。
- (2) 100mの決勝は予選の記録順位によるベスト8で行います。
- (3) リレーのオーダー用紙は招集開始時刻1時間前までに競技者係に提出してください。
(用紙は招集点呼場所の競技者係からもらってください)
- (4) フィールド競技の試技は3回とし、ベスト8による決勝は行いません。
- (5) 80m Hはスタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからゴールまで11m。高さ70cm、9台とします。
- (6) トラック競技とフィールド競技に複数出場している場合は、競技開始前に必ず申し出てください。また、トラック競技が優先となります。競技者が与えられた試技順に不在の時、その試技時間が過ぎるとパス扱いになります。

8. 競技用具

用器具はすべて主催者側で用意したものを使用します。

9. 競技用靴

スパイクピンの長さは、トラック種目は9mm以下、フィールド種目は12mm以下とします。

10. 表彰

- (1) 表彰は決勝記録発表後、ただちに本部前で行うので、各種目3位までの入賞者はメインスタンド前の表彰者控え席に集合してください。
- (2) 8位までの入賞者には賞状、3位までにはメダルを授与します。5、6年リレー優勝チームには川崎杯を授与します。（川崎杯は持ち回りとし、次年度返還時にレプリカをお渡しします）なお、賞状はエントランスホールに置いてあります。表彰時の写真撮影はスタンドからお願いします。
- (3) 競技終了時に総合表彰があり、男女各1名に優秀賞の楯が授与されます。

11. その他

- (1) 貴重品の管理は自分でしっかり行ってください。
- (2) 準備運動をきちんとし、けがのないよう気をつけて競技にのぞんでください。
- (3) スタート前は静かにしてください。
- (4) スタンドでは座って観戦願います。特に、最前列の手すりの前に立つと、後ろの観客の妨げになりますので絶対にやめてください。
- (5) 自分たちの使用した場所や周辺の後始末等は自分たちの責任できちんとするようにしてください。
- (6) ゴミは各自で持ち帰ってください。